

松谷会長記者会見の概要

日 時：令和3年8月13日（金）15時00分～15時15分

場 所：（オンライン記者会見）

記者：

公募投資信託の純資産総額の減少は、支払い分配金の大きさが要因であるとのこと説明をいただいたが、今回、支払い分配金額が過去最大となったのは、上場投資信託（ETF）の分配金が過去最大となったことが影響しているのか。

市倉統計情報部長：

その理解で相違ない。ETFの分配金は過去最大であるが、公募投信全体の支払い分配金（1兆1,087億円）も過去最大となった。

記者：

ETFの分配金が過去最大の水準になった背景は何か。

市倉統計情報部長：

日本銀行によるETFの買入額は段階的に増額されたこと等から、ETFの残高は60兆円弱の規模にまで膨らみ、受益権総口数が増加した。投資信託（ETFを含む）の分配金は、1口あたりの分配金に受益権総口数を乗じて算出した額であること等から、ETFの純資産総額の増加（受益権総口数が増加）が過去最大となった要因である。

記者：

ETFを除く公募株式投信の純資産総額（81兆3,254億円）は、8ヵ月連続で過去最高となったが、これまでのように個人からの資金流入が多いことが要因となっているという理解でよいか。

市倉統計情報部長：

7月のETFを除く公募株式投信は8ヵ月連続の純資金流入で、流入額も高水準であったこと等から、個人投資家からの資金流入は多かったものと考えられる。

以 上